3学年第８時　「セルフプレゼンテーション」支援プラン　進路選択

【エクササイズ（ＥＸ）＆準備物】

　準備編

　　ウォーミングアップ『じゃんけん列車』　 　　　　：「貨物列車」（ＢＧＭ）

　　メインＥＸ『インタビューゲーム』 　　　　　　　：インタビューカード（全員）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 プレゼン作成用文房具（全員）

　発表編

　　ウォーミングアップ『言うこと一緒、やること一緒』：準備物なし

　　メインＥＸ『セルフプレゼンテーション』 　　　 ：ホワイトボード（２班に１台）

【ねらい】

　３年間通して行ってきた「人間関係プログラム」の最後である。今まで行ってきたプログラムの集大成として、今の「自分」を客観的に見つめ、長所・短所をあるがままに受け止める。そして、その上で将来への夢や希望を前向きに語り、仲間の話を聴くことで共有していく。今の自分を素のまま開示することができれば、成長へのプロセスを歩むことが可能になる。

【概要】

　準備編は、プレゼンテーションの準備のために、自分を見つめ直す時間である。そのためにクラスの仲間へインタビューを行うが、そこでどのように自分のことを聴き出すか、また仲間について語ることができるか、本音で話ができるような雰囲気づくりが鍵となる。

　発表編は、準備した内容を友達の助言を元に修正したり、自分らしさを出したりしながらプレゼンテーションを行う。三年間の集大成として、自己開示の心地よさとともに、自分と周りの成長を感じ取ることができるよう支援を行う。

　三年間の最終プログラムということもあり、時間をゆったりととって自己開示の時間を保障したい。２時間設定できる場合は、実施日を分けてプレゼンテーション作成に余裕を持たせる。１日で実施する場合でも、時間延長可能な時間設定が必要である。また、その場合は発表編のウォーミングアップは省略することになる。

【流れ】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| ウォーミングアップ | 準備編　『じゃんけん列車』  ①相手を見つけてじゃんけん。負けた人は、勝った人の後ろにくっつき、肩を持ってつながる。  ②先頭の人がじゃんけん。負けたら、その後ろについていた人も全員が勝った人の列にくっつく。  ③最後には、全員が一列につながる。 | ○教室は椅子のみで。  ○男子、女子が分かれてしまわない工夫を。  ○「貨物列車」（ＢＧＭ）を流す。 |
| エクササイズ | 『インタビューゲーム』  ①インタビュー 　　＊インタビューカードはダウンロード可  　1)「私ってどんな人？」を聴く。  2)じゃんけんで「あいこ」になったらインタビューできる。  3)「あいこ」にならなければ他の人とじゃんけんする。  4)４人以上に訊く（男女２人ずつ）。  5)インタビューカードに記入する。 | ○インタビューの内容  ・私のいいところ  　・私の弱点  　・私のくせ又は口癖  　・私へのアドバイス  　・その他 |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| エクサササイズ | ②教員からのモデリング  ③セルフプレゼンテーションの準備  テーマ『私を語ろう！　未来を語ろう！』  持ち時間　一人１分～１分３０秒　原稿用紙１枚程度  画用紙・小物など使用してもいい。  ④プレゼン作成 | ○教員が中学生時代の自分のことを語る。  ○色画用紙等、基本的な文房具を子どもが選んで使えるように準備してあげるとよい。 |
| ウォーミングアップ | 発表編  　　『言うこと一緒、やること一緒』  ①教員が「言うこと一緒、やること一緒、右！」と言う。  ②教員の「右！」に続けて、一列（６人程度）になって手をつないぎ「右」と言いながら右へジャンプする。  ③教員は「右」の他に、「左」「前」「後」などとジャンプする方向を指示する。  ④「言うこと一緒、やること逆」「言うこと逆、やること一緒」等、応用するとよい。 | ○１日で取り組む場合はウォーミングアップはしない。  ○温かい雰囲気の中で発表できるように、体を動かしながら和やかな雰囲気をつくる。 |
| C:\Users\NEC-PC~1\AppData\Local\Temp\JS366B.GIF  エクサササイズ | 『セルフプレゼンテーション』  ①プレゼン交換  　1)じゃんけん１回で「あいこ」になった人とペアを組む。  　2)お互いがプレゼンをしてフィードバックを交換する。  ②教室にホワイトボードを入れ、発表の場をつくる。  ホワイトボードを挟んで、二つの班で行う。３０人学級で５人班が６つあれば、ホワイトボードが３台必要になる。  ③班でプレゼンテーションを発表する。  ④発表者に対して班でフィードバックを返す。  ⑤班で代表を選ぶ。  ⑥班の代表が全体で発表する。 | ○決まったペアから順番に座っていく場所を指定して、場が混乱しないようにする。  ○ペアの相手に聴いてもらってプレゼンの修正などをする。  ○自己開示のプログラムで行った相手の話を受けとめる聴き方をふりかえってから始めるとよい。 |
| ふりかえり・シェアリング | ①グループで気づきを交流する。  　＊プレゼンを作成して感じたこと  　 ＊仲間のプレゼンを聴いて感じたこと  ②ふりかえり用紙に記入する。 | フィードバックの視点  ・自己開示のようすや人の発表の受けとめ方などから、３年間の人間関係プログラムを通じての子どもたちの成長をとりあげる。 |

【ポイント】

　「自分ってこんな人」ということを改めて見つめるところから始まる。そのためにクラスメートへインタビューを行う。また、以前のエクササイズで使用した、「自分の短所をクラスメートに、長所へ言い換えてもらった」（リフレーミングで短所を長所に ｐ１０９）ワークシート、「自分の一日を振り返った」（Ｍｙ２４ｈｏｕｒｓ ｐ１０１）ワークシートも参考にして、長所も短所も含めた「ありのままの今の自分」を確認し受け容れる。その上で将来への希望や夢を語る。つまり、最後の「人間関係プログラム」において、今の自己を肯定的に受け止め、将来への展望を持つ。そして、そういう自分を学級で自己開示することで困難を乗り越える力を得ていくのである。

|  |
| --- |
| 子どもの気づき |
| 準備編  ・質問したときにすぐに答えてくれたので、よく見てくれてるなと思ってうれしかった。しっかり自分がわかる時間があることは、すごくいいなって思った。  ・自分のことを伝えるのが苦手なので、これを機会に克服したい。自分の弱点をよくわかってくれているなと思った。これからの人生につながる授業だった。  発表編  ・みんなが真剣に考えて、思っていることをみんなで共有できたので夢がある人はその夢を、まだない人も高校受験をみんなでサポートして、応援してあげられるクラスになるといい。そんなクラスにしたい。  ・みんな自分と向き合ってプレゼンをしていて、聞いてて面白い人もいたし、感動した。この時間は良かったなと思った。  ・自分の夢を口に出すことが少ないから、新鮮な感じがしました。みんなの夢も聞くことができて良かったです。 |

|  |
| --- |
| 教員からのコメント |
| 準備編  　活動全体を通して、いつものクラスの雰囲気でできたと思う。そのきっかけが、ウォーミングアップの「じゃんけん列車」だった。生徒から，「男女混合でやって、めっちゃおもしろかった。」「列ができて改めて、クラスのみんなが仲がいいんだなと思った。」など、思い思いの感想があった。続くインタビューも、そのままの和やかな雰囲気で行えた。クラスの中には、日頃から自分からなかなか話しかけていけない生徒もいるが、そういった生徒にも、どんどんインタビューしていく雰囲気がクラス全体で見られたことはとても嬉しかった。セルフプレゼンの準備では、目的や方法などをきちんと押さえることに留意したが、教師がモデリングとしてセルフプレゼンを行ったことで、生徒はイメージを持ちやすくなったように思う。  発表編  行事も終わり、進路に向かっていく３年生のこの時期にピッタリのプログラムでした。本番のプレゼンテーション自体もいい時間になりましたが、それまでの準備期間が、自分を見つめ直すいい時間になったようです。「言うことなんてない。」と言っていた生徒が、だんだん自分の気持ちに迫っていく様子は、見ている私にとっても良い経験になりました。自分には夢があり、それと同じように隣の人にも夢があることに気づくことができた時間でした。そして他の人にも夢があるのだから、応援したいという空気が生まれました。合唱コンクールで思うような結果が出ず、男女の仲もギクシャクした時期でしたが、このプレゼンを通して、お互いを応援する雰囲気ができてきました。また、「こころ♡ほっとタイム」に助けられた気がします。 |

＊道徳の内容項目との関連：　1-(4) 理想の実現　　2-(2) 人間愛　　4-(7) 愛校心

（担当：大橋　敬美）